

令和3年4月1日

令和3年度 西東京市立柳沢中学校「学校経営方針」

西東京市立柳沢中学校
統括校長 勝見 俊也

1 本校の教育目標

変化する社会の中で、学校教育を通じてよりよい社会を創るため、以下のような目標を設定する。

- 広い視野をもち勉学に励む人間 「問題発見・解決能力」
- 思いやりのある人間 「人間関係形成力」
- 心身ともに健康な人間 「豊かな人生を実現させる力」

2 学校の特徴

- (1) 50年の伝統に培われた地域からの期待と信頼
- (2) 「光る個性 柔らかな感性を育む 伸びやかな学校」としての校風
- (3) 小さな学校規模の利点を最大限に活かした、個別支援教育と個々のリーダー力育成
- (4) 数学科少人数習熟度別授業、英語科少人数コミュニケーション能力向上授業を基軸とした個々の生徒の学習状況に応じた、きめ細やかな教科指導
- (5) 「協調性・信頼性・自主性」の精神を尊重した、生徒が主体による行事の充実
- (6) 本校学区内・本校隣接小学校と、小中一貫指導の具現化を目指した連携
- (7) P T A ・地域・関係諸機関等との行動連携・双方互惠関係の充実

3 目指す学校像・・・「最良・最高のスタンダード教育」の実現をめざして

○目指す学校像

- ・生徒「一人一人が主役」となれる活動が溢れる学校
- ・生徒が安心して学べる「生命尊重教育を基軸とした」信頼溢れる学校
- ・生徒自ら学習に取り組み「学びの達成感」が溢れる学校
- ・Team Yagisawa with smiles「チームとして笑顔が溢れる学校」

○目指す生徒像

- ・自己実現に向け、自ら考え進んでやりぬく心と体をもつ生徒
- ・自他を尊重し、正しい判断に基づき責任を重んじ協力する生徒
- ・伝統と文化を尊重し、自然と郷土を愛し、広く社会に貢献しようとする生徒

○目指す教師像

- ・生徒の心情に共感し理解し励まし支援する教師「生徒理解の深化」
- ・分かりやすい授業を実践し、生徒の学ぶ意欲を引き出す教師「授業力」
- ・生徒の豊かな感性と良さを引き出し、自己実現を支援する教師「理想の実現」

4 学校経営の目標・・・五つの柱

- (1) 一人一人の「生きる力」を育む、きめ細やかで温かい教育の推進
- (2) 一人一人の「自ら主体的に学ぶ力」を育む、確かな授業の推進
- (3) 一人一人の「豊かな人間性」を育む、質の高い自主的活動・体験学習の推進
- (4) 教えるプロとしての自覚(法令遵守)に基づく「活力溢れる教職員組織」の構築
- (5) 学校・保護者・地域が三位一体となった「行動連携」「双方互惠関係」の構築

5 本年度の重点目標およびその具体的方策

(1) 一人一人の「生きる力」を育む、きめ細やかで温かい教育の推進

全教育活動を通して「**命の尊さ**」の教育活動を推進し、生涯に渡り自他の生命尊重・人権尊重の精神を基軸とした「逞しく生きる力」の育成を図る。その具現化のためには、小規模校の利点を活かし、生徒との心の触れ合いと深い生徒理解を基軸として「良いことは良い」「だめなことはだめ」と、時に優しく時に厳しく「愛と厳に溢れる」確かな指導を実践する。生徒自らの判断力向上をめざし、物事を最後までやり遂げる、逞しさを持った生徒を育成する。

<具体的な取り組み>

- ① 全教育活動を通して、互いの人格を尊重し、認め高めあえる生徒集団を育成する。
- ② 生活指導部の基本方針を基に、全校体制で生徒の規範意識の確立を図る。
 - ・『あ・じ・み・こ・し』（挨拶・時間・身だしなみ・言葉遣い・姿勢）を生活目標に設定し、教育活動全体を通して組織的な取り組みをする。
- ③ いじめ防止対策委員会を基軸として、組織的にいじめ撲滅に全力を挙げて取り組み「いじめゼロ」を実現する。
- ④ 教育相談の充実を図る。
 - ・心のつながりを重視し、生徒の良さを引き出すきめ細やかな生活指導を推進する。
 - ・日常的に生徒との相談活動を励行するとともに、家庭との連絡・連携を密にし、いじめ・不登校の未然防止、早期発見に取り組む。
- ⑤ 特別支援教育の充実を図る。
 - ・特別支援コーディネーターを中心に、校内委員会の活性化を推進し、迅速で的確な情報把握連絡・調整を行い、個々の生徒の課題に応じた確実な対応と指導体制を構築する。
- ⑥ 安全指導を徹底する。
 - ・防災教育・環境整備・安全確認を徹底し、報告・連絡・相談体制を密にした安全指導・安全教育の推進を図る。
- ⑦ 規律ある生活習慣づくり「健康教育」（食育・薬物乱用防止教室・禁煙講座等）の推進。

(2) 一人一人の「自ら主体的に学ぶ力」を育む、確かな授業の推進

生涯に渡り、豊かな人生を切り開いていくために「自ら主体的に学ぶ力」を育む。その具現化のために、G I G Aスクールの取り組みを充実させ「主体的・対話的で深い学び」「情報活用教育」を充実させる。

<具体的な取り組み>

- ① G I G Aスクールの具現化を図り、ICT 機器を活用した授業改善・教育活動の質の向上を図る。
- ② 質の高い最良の授業を目指し、「2021年度 海洋教育パイオニアスクールプログラム」<単元開発部門>の研究に取り組み、理科を中心とした授業改善・教材改善に取り組む。
- ③ 主体的・対話的で深い学びをめざし「アクティブラーニング」の手法を積極的に活用した授業改善に取り組み、「言語能力」「情報活用能力」等の資質向上を図る。
- ④ 新学習指導要領完全実施と授業力向上を目指し、本校独自の「シラバス」を全教科で作成する。「個々の生徒の学習力向上」「基礎・基本の定着」を図り、都立高等学校入学希望者の合格率 100%を目指す。

- ⑤ オリンピック・パラリンピック教育研究校として取り組みの充実を図る
- ⑥ 学習遅延が心配される生徒へ、個別支援学習を実施し「学習のつまずき」を改善し「基本的な学習スキルの定着」を図り、「学習の途切れをゼロにする。」
- ⑦ 学校図書館を有効活用した教科指導・年間を通した朝読書・朝学習を推進する。
- ⑧ 校内弁論大会・生徒同士の討論会・同じ本を読んで意見を述べ合う学習活動・各教科や体験、調べたことをまとめ、発表し合う発表学習等を推進する。

(3) 一人一人の「**豊かな人間性**」を育む、質の高い自主的活動・体験学習の推進

全教育活動を通して人権教育・道徳教育を中心とした心の教育を充実させ、「豊かな人間性」「道徳的実践力」を育む教育を推進する。

<具体的な取り組み>

- ① 言語教育環境を向上させ、「潤いのある学校づくり」を推進する。
- ② 心の教育の「要」として道徳授業の質の向上を図るとともに、全教育活動を通して人権教育・道徳教育を充実させ「豊かな人間性」道徳的実践力向上を図る。
- ③ 道徳の授業と各種行事・各教科授業等との関連性を明確にし、生徒自ら内面的な道徳的価値観を育むことができる教育活動を推進する。
- ④ 伝統と文化を尊重し、自然と郷土を愛し「社会に貢献する心」の育成を図る。
- ⑤ 職場体験を通して、地域に働く人々の役割・社会的貢献力・郷土愛等を体験し、社会に貢献する意欲・意識を育む。
- ⑥ 生徒自ら作り上げる文化的・体育的行事を成功させ、成就感を育む。
- ⑦ 生徒会を中心として自主的な、挨拶運動・奉仕活動・ボランティア活動に取り組み、社会貢献の基本的行動を学ぶ。
- ⑧ 保護者・地域と連携した社会体験・社会貢献活動を推進する。

(4) 教えるプロとしての自覚(法令遵守)に基づく「**活力溢れる教職員組織**」集団の構築

全体の奉仕者である教育公務員という立場を自覚し、法令遵守を基軸とした「厳正な服務を遂行し、生徒・保護者・地域の信頼にこたえ、活力ある教職員の組織体制を構築する。

<具体的な取り組み>

- ① 「個々の生徒に寄り添い・支援する」あったか先生を遂行し、確かな信頼を確立する。
- ② 「サービス事故違反ゼロ宣言」を掲げ、プロの教師として自覚ある職務遂行を行うとともに、授業力向上に取り組み、確かな信頼を確立する。
- ③ 校務運営の効率化に取り組み、そのことによって生み出される新たな時間を活用し、生徒と寄り添う指導を充実させる。
- ④ 各主幹・主任の統括の基、校内分掌の役割分担の整理・スリム化を図るとともに、進行確認・連絡調整を徹底し、適切な教育進行を行う。
- ⑤ 文書管理体制を整理し、文書保存、管理の一元化を進め学校データベースへの電子ファイル保存を徹底し情報漏洩を防ぐとともに、情報の共有化を進め、業務のスリム化を図る。
- ⑥ 主幹・主任を中心に中長期的な課題を整理・調整し、主幹（主任）会議・運営委員会・職員会議の時間短縮化を図る。

- ⑦ 日常的なO J T研修の活性化として、ベテラン教諭から若手教諭へのアドバイス等を常時実施し、教育活動の質の向上を図る。

(5) 学校・保護者・地域が一体となった「行動連携」「双方互惠関係」の構築

相互理解に基づいた健全育成推進のために、P T A組織・地域・学校が、三位一体となった取組と行動連携の充実を推進し、チーム柳沢を構築する。

<具体的な取り組み>

- ① 小中連携の取り組みを充実させ、小・中一貫指導が必要な教科・生活指導事項の内容確認及び、指導の工夫等の研修・情報交換を行い質の向上を図る。
- ② 合唱コンクールを、武蔵野大学講堂を借用して実施し、地域学校との連携を図る。
- ③ 運動会・合唱コンクール・道徳授業地区公開講座・地域清掃・土曜日開催行事等において、P T A組織・保谷第二小学校親父の会との協働連携を充実し、双方互惠関係の向上を図る。
- ④ 地域清掃・挨拶運動・生徒参加型地域行事等に積極的に関わり、地域の関係諸機関との連携を推進する。